

### 15. 結婚生活に必要な夫婦の年収（税込）(Q32)

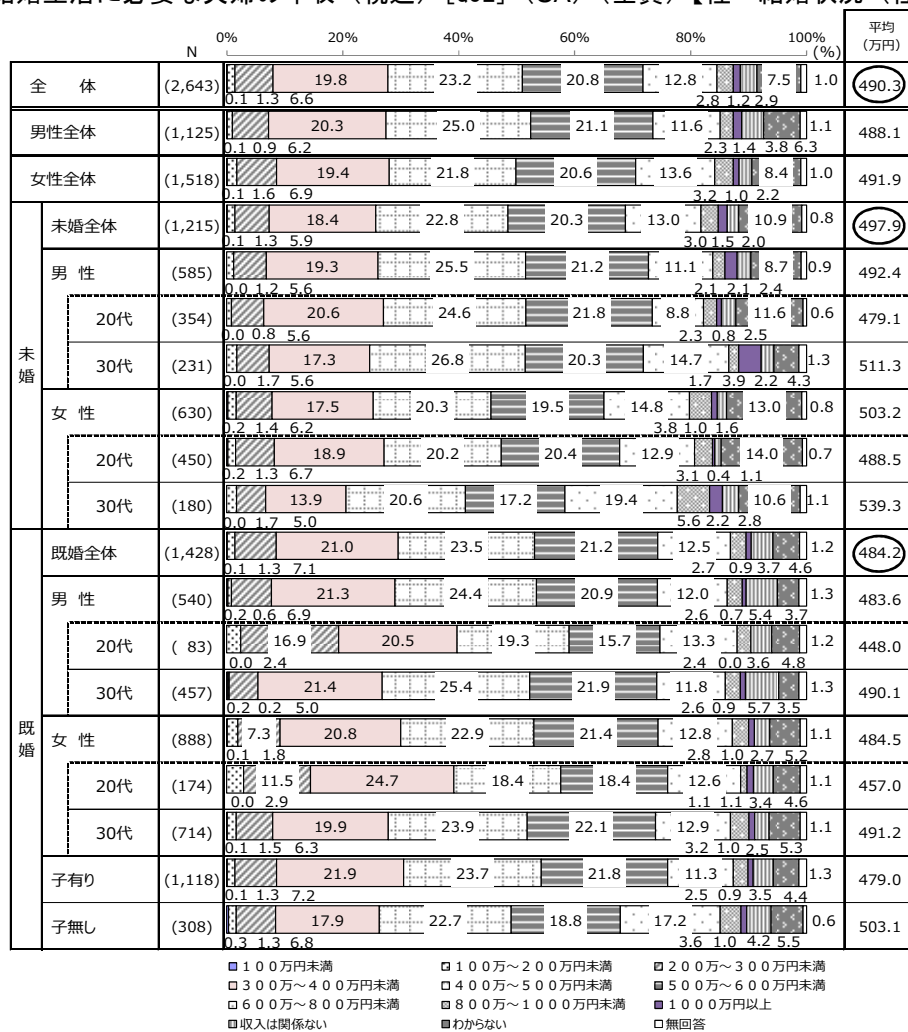
＜全ての方に＞

Q32 結婚生活をスタートさせるにあたって必要だと思う夫婦の年収(税込み)は、どのくらいだとお考えですか。(○は1つ)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 100万円未満       | 7 600万円～800万円未満  |
| 2 100万円～200万円未満 | 8 800万円～1000万円未満 |
| 3 200万円～300万円未満 | 9 1000万円以上       |
| 4 300万円～400万円未満 | 10 収入は関係ない       |
| 5 400万円～500万円未満 | 11 わからない         |
| 6 500万円～600万円未満 |                  |

- ・全体では、平均 490.3 万円。
- ・男女間で大きな差はないが、年代別にみると、男女とも 30 代の方が、20 代よりも、必要と考える年収額平均が高い傾向にある。
- ・「未婚」(497.9 万円)の方が、「既婚」(484.2 万円)よりも、必要と考える年収額平均が、14 万円ほど高い。

図表 15-1 結婚生活に必要な夫婦の年収（税込）[Q32] (SA) (全員)【性・結婚状況(性・年代)別】



※ 「平均(万円)」を算出するに当たって、各カテゴリー表記の中央の値(「100万円～200万円未満」は150万円、「200万円～300万円未満」は250万円、「300万円～400万円未満」は350万円、「400万円～500万円未満」は450万円、「500万円～600万円未満」は550万円、「600万円～800万円未満」は700万円、「800万円～1000万円未満」は900万円)を用いた。なお、「100万円未満」は50万円、「1000万円以上」は1100万円としている。また、「収入は関係ない」「わからない」「無回答」は算出から除外している。

・「都市」(509.6万円)の方が、「地方」(482.1万円)よりも必要と考える年収額平均が、27.5万円高い。

・地域によって、必要と考える年収平均のばらつきが大きく、最も高い「首都圏」では524.5万円である一方、最も低い「北海道」では440.9万円と、84万円ほどの差がみられる。

図表 15-2 結婚生活に必要な夫婦の年収(税込) [Q32] (SA) (全員)  
【居住地・地域・夫婦の年収・学歴別】

		N	収入別割合 (%)										平均 (万円)		
全体		(2,643)	0.1	1.3	6.6	19.8	23.2	20.8	12.8	7.5	1.0	2.8	1.2	2.9	490.3
居住地	都市	(796)	0.3	1.5	4.3	18.5	23.0	20.9	14.1	7.2	1.5	3.9	1.8	3.3	509.6
	地方	(1,847)	0.1	1.2	7.6	20.4	23.2	20.8	12.2	7.7	0.8	2.4	0.9	2.8	482.1
地域	北海道	(104)	0.0	2.9	9.6	25.0	24.0	19.2	6.7	1.9	1.9	0.0	1.9	6.7	440.9
	東北	(178)	0.0	2.8	9.6	24.2	22.5	11.8	12.9	9.0	2.2	1.7	0.6	2.8	454.2
	北関東	(158)	0.0	2.5	8.2	19.6	22.8	19.6	15.2	1.3	2.5	1.3	2.5	4.4	486.6
	首都圏	(741)	0.4	0.7	4.5	16.1	21.7	22.1	16.2	8.1	0.7	4.0	2.0	3.5	524.5
	北陸	(119)	0.0	0.8	6.7	19.3	22.7	22.7	16.0	1.7	0.8	0.0	3.4	5.9	484.9
	中部	(409)	0.0	1.0	5.6	18.8	24.7	23.0	13.2	1.0	2.4	1.2	2.2	6.8	496.6
	近畿	(412)	0.0	1.0	4.4	23.5	25.7	22.3	9.2	0.7	2.7	0.5	1.9	478.4	
	中国・四国	(236)	0.0	1.7	8.1	19.1	22.5	17.4	11.9	1.3	2.5	1.7	3.4	484.5	
	九州・沖縄	(286)	0.0	1.7	11.5	21.7	22.0	21.0	8.4	0.7	2.8	0.7	3.8	5.6	460.1
	夫婦の年収	既婚	400万円未満	0.0	3.3	20.1	29.7	23.0	11.7	1.3	2.1	0.0	0.4	3.8	4.6
離婚別含まない		600万円未満	0.0	1.2	5.8	31.4	29.3	18.0	1.6	1.2	0.2	2.1	2.3	445.3	
		800万円未満	0.3	0.9	4.0	11.6	25.2	28.3	17.0	0.6	3.0	0.6	4.3	4.3	521.6
		800万円以上	0.4	0.4	1.2	9.9	15.4	30.8	25.3	0.8	6.7	1.6	3.6	4.0	580.4
学歴	中学校・高校	(669)	0.4	2.1	9.0	24.4	22.4	18.2	8.1	1.3	1.0	0.6	3.3	446.1	
	専門学校・短大・高専	(777)	0.0	1.0	8.4	21.5	20.7	20.6	12.5	0.9	3.2	1.7	1.9	490	
	大学・大学院	(1,191)	0.0	1.1	4.1	16.2	25.2	22.4	15.6	0.8	3.5	1.2	3.4	6.5	514.1

■ 100万円未満  
 □ 300万円～400万円未満  
 □ 600万円～800万円未満  
 □ 収入は関係ない

□ 100万～200万円未満  
 □ 400万円～500万円未満  
 □ 800万円～1000万円未満  
 ■ わからない

□ 200万～300万円未満  
 ■ 500万円～600万円未満  
 ■ 1000万円以上  
 □ 無回答

※ 「平均(万円)」を算出するに当たって、各カテゴリー表記の中央の値(「100万円～200万円未満」は150万円、「200万円～300万円未満」は250万円、「300万円～400万円未満」は350万円、「400万円～500万円未満」は450万円、「500万円～600万円未満」は550万円、「600万円～800万円未満」は700万円、「800万円～1000万円未満」は900万円)を用いた。なお、「100万円未満」は50万円、「1000万円以上」は1100万円としている。また、「収入は関係ない」「わからない」「無回答」は算出から除外している。

## 16. 現在結婚していない理由 (Q33)

<未婚の方 (Q3 で「3. 現在配偶者はおらず、今まで結婚したことはない」とお答えの方) に>

Q33 あなたが現在結婚していない理由を教えてください。当てはまるものを全てお選びください。  
(〇はいくつでも)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1 適当な相手にめぐり合わないから    | 9 まだ若すぎるから      |
| 2 自由や気楽さを失いたくないから    | 10 仕事が忙しすぎるから   |
| 3 結婚後の生活資金が足りないと思うから | 11 仕事を優先したいから   |
| 4 雇用が安定していないから       | 12 住宅のめどが立たないから |
| 5 結婚の必要性を感じないから      | 13 親や周囲が同意しないから |
| 6 結婚資金が足りないから        | 14 結婚するつもりはないから |
| 7 趣味や娯楽を楽しみたいから      | 15 その他          |
| 8 異性とうまくつきあえないから     | (具体的に )         |

・全体では、「適当な相手にめぐり合わないから」が 54.3%と最も高い。「自由や気楽さを失いたくないから」(27.2%)、「結婚後の生活資金が足りないと思うから」(26.9%) はそれぞれ 3 割弱にとどまる。

・男女ともに「適当な相手にめぐり合わないから」が最も高いが、次に続くのが男性では「結婚後の生活資金が足りないと思うから」(35.2%) であるのに対し、女性では「自由や気楽さを失いたくないから」(25.6%)。

図表 16-1 現在結婚していない理由 [Q33] (MA) (未婚者) 【性・年代別】

		N	適当な相手にめぐり合わないから	自由や気楽さを失いたくないから	結婚後の生活資金が足りないと思うから	雇用が安定していないから	結婚の必要性を感じないから	結婚資金が足りないから	趣味や娯楽を楽しみたいから	異性とうまくつきあえないから	まだ若すぎるから	仕事が忙しすぎるから	仕事を優先したいから	住宅のめどが立たないから	親や周囲が同意しないから	結婚するつもりはないから	その他	無回答	
全	体	(1,215)	54.3	27.2	26.9	17.4	17.0	18.5	23.7	18.3	24.2	12.4	10.4	3.3	2.0	10.0	7.1	1.0	
未	男	性	( 585)	53.5	29.1	35.2	20.3	18.1	21.9	26.5	17.9	26.0	13.3	8.5	4.3	1.2	11.6	5.5	1.0
		20代	( 354)	42.7	28.2	33.9	19.2	16.4	22.9	28.5	16.1	42.1	12.1	9.6	4.0	1.1	10.5	5.4	0.8
	30代	( 231)	70.1	30.3	37.2	22.1	20.8	20.3	23.4	20.8	1.3	15.2	6.9	4.8	1.3	13.4	5.6	1.3	
	女	性	( 630)	55.1	25.6	19.2	14.6	15.9	15.4	21.1	18.6	22.5	11.6	12.1	2.4	2.7	8.4	8.6	1.0
		20代	( 450)	49.6	23.8	21.6	14.7	15.3	18.2	20.2	16.2	31.6	11.1	14.2	2.2	3.3	8.4	7.6	1.1
		30代	( 180)	68.9	30.0	13.3	14.4	17.2	8.3	23.3	24.4	0.0	12.8	6.7	2.8	1.1	8.3	11.1	0.6
			1位	2位	3位														

- ・交際状況別にみると、「恋人あり」では、挙げられる理由が全体的に少なく、最も高い「結婚後の生活資金が足りないと思うから」で、31.2%。
- ・「恋人なし・交際経験なし」では、「異性とうまくつきあえないから」が、38.5%で比較的高い。
- ・年収別にみると、男性の「収入はない」、「400万円未満」で、「結婚後の生活資金が足りないと思うから」が3割以上、女性の「200万円以上」で「自由や気楽さを失いたくないから」が26.9%と比較的高くなっている。

図表 16-2 現在結婚していない理由[Q33] (MA) (未婚者)【居住地・交際状況・本人年収別】

(%)

		N	適当な相手にめぐり合わないから	自由や気楽さを失いたくないから	結婚後の生活資金が足りないと思うから	雇用が安定していないから	結婚の必要性を感じないから	結婚資金が足りないから	趣味や娯楽を楽しみたいから	異性とうまくつきあえないから	まだ若すぎるから	仕事が忙しすぎるから	仕事を優先したいから	住宅のめどが立たないから	親や周囲が同意しないから	結婚するつもりはないから	その他	無回答	
全	体	(1,215)	54.3	27.2	26.9	17.4	17.0	18.5	23.7	18.3	24.2	12.4	10.4	3.3	2.0	10.0	7.1	1.0	
居	都 市	( 396)	54.0	30.1	28.8	16.9	22.5	18.4	22.7	15.7	25.3	12.6	13.4	3.3	2.0	11.6	6.1	0.8	
	地 方	( 819)	54.5	25.9	26.0	17.6	14.3	18.6	24.2	19.5	23.7	12.3	8.9	3.3	2.0	9.2	7.6	1.1	
交	未	恋人あり	( 426)	27.0	21.8	31.2	14.8	12.7	25.1	18.8	3.5	28.4	12.9	11.7	4.5	5.2	2.8	11.7	1.2
		恋人なし	( 761)	69.3	30.7	24.2	18.3	19.8	14.6	26.8	26.1	21.8	12.5	9.5	2.5	0.3	14.2	4.6	0.9
		交際経験あり	( 465)	71.8	30.8	21.5	14.8	15.7	13.8	23.4	18.3	20.6	12.9	9.9	2.2	0.4	9.9	4.5	0.6
		交際経験なし	( 296)	65.2	30.7	28.4	23.6	26.4	15.9	32.1	38.5	23.6	11.8	8.8	3.0	0.0	20.9	4.7	1.4
本	男	収入はない	( 85)	32.9	24.7	34.1	28.2	11.8	20.0	28.2	17.6	60.0	2.4	7.1	3.5	1.2	11.8	2.4	0.0
		400万円未満	( 392)	55.9	28.8	37.5	21.7	19.4	23.7	27.0	18.9	23.5	15.6	10.2	4.6	1.0	12.2	5.4	1.3
		400万円以上	( 92)	68.5	34.8	26.1	7.6	18.5	16.3	22.8	15.2	5.4	14.1	2.2	2.2	2.2	7.6	7.6	0.0
	女	収入はない	( 63)	36.5	17.5	25.4	27.0	31.7	14.3	15.9	15.9	49.2	3.2	7.9	1.6	1.6	12.7	12.7	1.6
		200万円未満	( 239)	48.5	25.5	24.3	19.2	13.0	20.9	23.0	23.0	31.0	6.7	14.2	2.5	4.2	13.0	7.1	0.8
		200万円以上	( 312)	63.5	26.9	14.4	8.0	14.4	12.2	20.8	15.7	10.9	17.3	11.5	2.6	1.9	3.5	8.3	1.0

1位 2位 3位

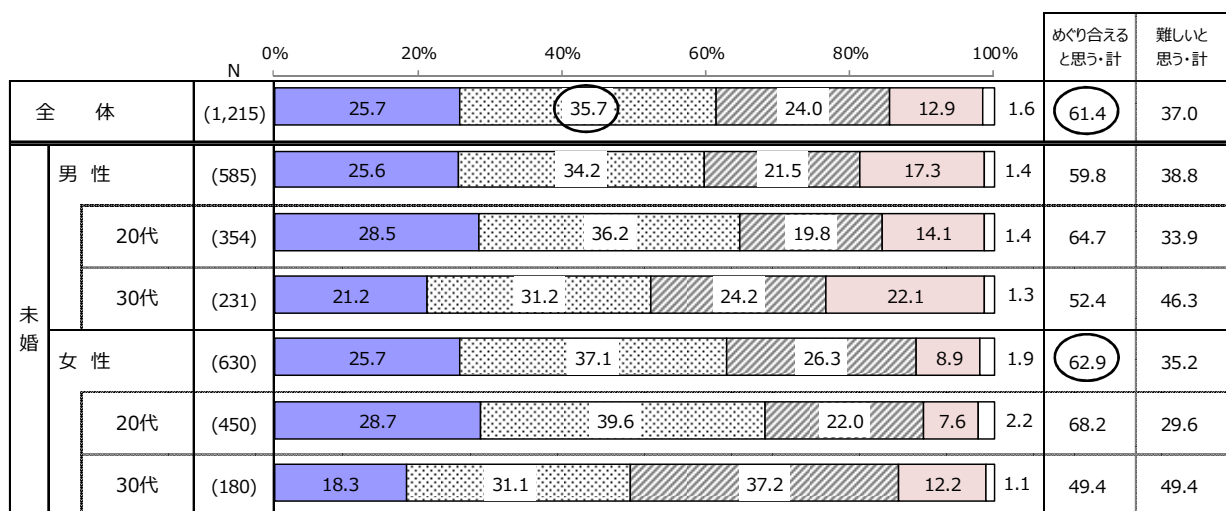
## 17. 結婚相手にめぐり合う可能性 (Q34)

＜未婚の方 (Q3 で「3. 現在配偶者はおらず、今まで結婚したことはない」とお答えの方) に＞  
 Q34 今後、結婚相手にめぐり合う可能性について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

- 1 必ずあると思う
- 2 どちらかといえばあると思う
- 3 どちらかといえば難しいと思う
- 4 かなり難しいと思う

・全体では、「どちらかといえばあると思う」が 35.7% で最も高い。「めぐり合えると思う・計」(「必ずあると思う」、「どちらかといえばあると思う」の合計) は、61.4%、「難しいと思う・計」が 37.0%。  
 ・男女間では、女性 (62.9%) の方が、男性 (59.8%) よりも「めぐり合えると思う・計」が 3 ポイントほど高い。  
 ・男女とも 20 代の方が、30 代よりも「めぐり合えると思う・計」が高く、女性では 30 代が 49.4% であるのに対し、20 代では 68.2% と、18 ポイント以上の差がみられる。

図表 17-1 結婚相手にめぐり合う可能性 [Q34] (SA) (未婚者) 【性・年代別】

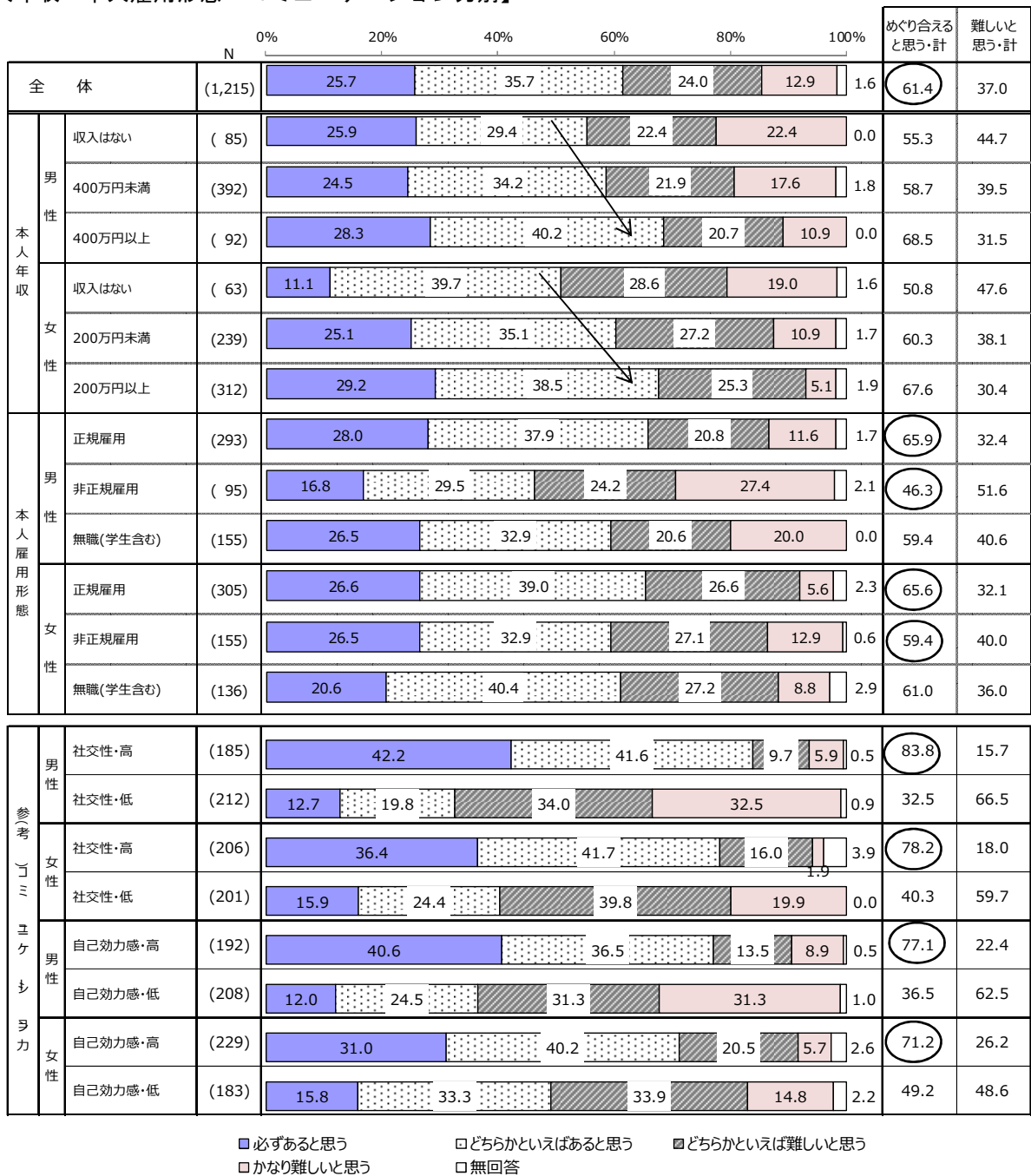


■ 必ずあると思う      □ どちらかといえばあると思う      □ どちらかといえば難しいと思う  
 □ かなり難しいと思う      □ 無回答

※ 「めぐり合えると思う・計」は、「必ずあると思う」「どちらかといえばあると思う」の合計。  
 「難しいと思う・計」は、「どちらかといえば難しいと思う」「かなり難しいと思う」の合計。

- ・年収別にみると、男女とも年収が高いほど、「めぐり合えると思う・計」が高い傾向がみられる。
- ・雇用形態別にみると、男女とも「正規雇用」で「めぐり合えると思う・計」は65%以上である一方、「非正規雇用」では、男性で46.3%、女性で59.4%。
- ・コミュニケーションカ別では、男女とも、また社交性・自己効力感ともに「高」では、「めぐり合えると思う・計」が7~8割程度と高く、「低」と大きな差がみられる。特に、「社交性・高」の男性では約51ポイントの差がある。

図表 17-2 結婚相手にめぐり合う可能性[Q34] (SA) (未婚者)  
【本人年収・本人雇用形態・コミュニケーションカ別】



※ 「めぐり合えると思う・計」は、「必ずあると思う」「どちらかといえばあると思う」の合計。  
「難しいと思う・計」は、「どちらかといえば難しいと思う」「かなり難しいと思う」の合計。  
※ 社交性・自己効力感については、18 頁にあるとおり、高・中・低と3区分に分類しているが、ここでは高・低の集計結果のみ掲載している。

## 18. 適当な相手にめぐり合わない場合の対応 (Q35)

＜未婚の方 (Q3 で「3. 現在配偶者はおらず、今まで結婚したことはない」とお答えの方) に＞

Q35 今後、適当な相手にめぐり合わない場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。あなたがとるであろう対応として、当てはまるものを全てお選びください。(○はいくつでも)

- 1 結婚相手に求める条件を譲歩・変更する
- 2 いろいろな方法を使って、結婚相手を探す
- 3 いままで対象外だった人たちも含めて結婚相手を探す
- 4 その他 (具体的に )
- 5 無理に結婚することはしない
- 6 特に何もしない

・全体では、「無理に結婚することはしない」が最も高く、41.3%。次に「いろいろな方法を使って、結婚相手を探す」が 29.5%、「結婚相手に求める条件を譲歩・変更する」が 17.5%と続く。「特に何もしない」は、13.7%。

・男性では、「特に何もしない」が2割弱と、比較的高い。女性では、「結婚相手に求める条件を譲歩・変更する」が2割程度。

図表 18-1 適当な相手にめぐり合わない場合の対応 [Q35] (MA) (未婚者)【性・年代別】

(%)

N		結婚相手に求める条件を譲歩・変更する	いろいろな方法を使って、結婚相手を探す	いままで対象外だった人たちも含めて結婚相手を探す	その他	無理に結婚することはしない	特に何もしない	無回答	行動を起こす・計	行動を起こさない・計	
全 体	(1,215)	17.5	29.5	11.9	0.7	41.3	13.7	1.6	43.5	55.0	
未 婚	男 性	( 585)	14.0	29.9	9.1	0.3	41.4	16.4	1.7	40.5	57.8
	20代	( 354)	16.4	30.2	8.5	0.0	39.3	16.4	1.7	42.7	55.6
	30代	( 231)	10.4	29.4	10.0	0.9	44.6	16.5	1.7	37.2	61.0
	女 性	( 630)	20.8	29.2	14.4	1.1	41.3	11.1	1.4	46.2	52.4
	20代	( 450)	21.1	31.6	14.4	1.1	38.4	10.9	1.8	48.9	49.3
	30代	( 180)	20.0	23.3	14.4	1.1	48.3	11.7	0.6	39.4	60.0
						1位	2位	3位			

※ 「行動を起こす・計」には「結婚相手に求める条件を譲歩・変更する」「いろいろな方法を使って、結婚相手を探す」「いままで対象外だった人たちも含めて結婚相手を探す」「その他」を含む。  
「行動を起こさない・計」には「無理に結婚することはしない」「特に何もしない」を含む。



- ・雇用形態別にみると、男性の「非正規雇用」では、「特に何もしない」が20.0%と、比較的高い。
- ・コミュニケーション力にかかわらず、「無理に結婚することはしない」がいずれも3割半ば～4割半ばである。
- ・男女とも「社交性・高」では「いろいろな方法を使って、結婚相手を探す」が4割近くと高い。
- ・「社交性・低」の男性（70.8%）、女性（60.2%）が「行動を起こさない」。

図表 18-2 適当な相手にめぐり合わない場合の対応 [Q35] (MA) (未婚者)  
【本人雇用形態・コミュニケーション力別】

(%)

		N	結婚相手に求める条件を譲歩・変更する	いろいろな方法を使って、結婚相手を探す	いままで対象外だった人たちも含めて結婚相手を探す	その他	無理に結婚することはしない	特に何もしない	無回答	行動を起こす・計	行動を起こさない・計
全 体		(1,215)	17.5	29.5	11.9	0.7	41.3	13.7	1.6	43.5	55.0
本人雇用形態	男性	正規雇用 ( 293)	16.4	34.1	10.9	0.0	38.9	15.0	2.0	44.0	53.9
		非正規雇用 ( 95)	5.3	18.9	8.4	0.0	50.5	20.0	4.2	25.3	70.5
		無職(学生含む) ( 155)	14.2	27.7	6.5	0.6	42.6	16.8	0.0	40.6	59.4
	女性	正規雇用 ( 305)	22.0	35.7	14.4	0.7	38.4	9.2	1.6	50.8	47.5
		非正規雇用 ( 155)	18.7	23.9	17.4	1.9	40.6	14.2	0.6	44.5	54.8
		無職(学生含む) ( 136)	20.6	21.3	13.2	1.5	48.5	10.3	2.2	39.0	58.8
参考 コミュニケーション力	男性	社交性・高 ( 185)	13.0	37.8	10.8	0.0	39.5	9.2	2.2	49.2	48.6
		社交性・低 ( 212)	9.4	20.8	6.6	0.5	47.2	23.6	0.9	28.3	70.8
	女性	社交性・高 ( 206)	21.4	38.3	14.1	1.0	35.0	8.7	2.9	53.4	43.7
		社交性・低 ( 201)	21.4	23.9	13.9	1.5	45.8	14.4	0.5	39.3	60.2
	エケモ 男性	自己効力感・高 ( 192)	11.5	39.6	7.8	0.0	40.1	12.0	3.1	44.8	52.1
		自己効力感・低 ( 208)	9.6	19.7	6.3	0.5	46.2	25.0	1.4	27.4	71.2
	多力 女性	自己効力感・高 ( 229)	19.7	32.3	15.7	0.4	41.9	7.4	2.2	48.5	49.3
		自己効力感・低 ( 183)	19.7	24.6	14.8	1.1	38.8	15.8	1.6	43.7	54.6
			1位	2位	3位						

※「行動を起こす・計」には「結婚相手に求める条件を譲歩・変更する」「いろいろな方法を使って、結婚相手を探す」「いままで対象外だった人たちも含めて結婚相手を探す」「その他」を含む。「行動を起こさない・計」には「無理に結婚することはしない」「特に何もしない」を含む。

※ 社交性・自己効力感については、18 頁にあるとおり、高・中・低と3区分に分類しているが、ここでは高・低の集計結果のみ掲載している。



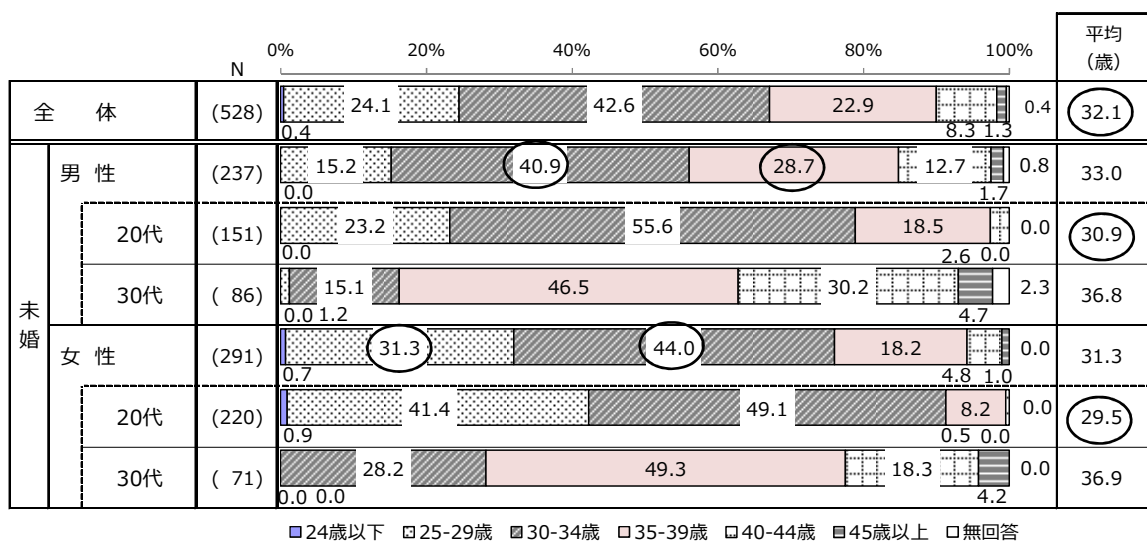
## 19. 結婚に向けた積極的な対応をとる年齢 (Q36)

<Q35 で 1～4 とお答えの方に>

Q36 あなたは、何歳くらいまでに結婚していなかったら、結婚に向けた積極的な対応をとると思いますか。(数字でお答えください)

- ・全体では「30-34歳」が42.6%と最も高く、平均では32.1歳。
- ・男性では、積極的な対応をとる年齢は、「30-34歳」(40.9%)、「35-39歳」(28.7%)で計69.6%と約7割。女性では、積極的な対応をとる年齢は、「30-34歳」(44.0%)が最も高く、「25-29歳」(31.3%)が続く。
- ・20代の平均は、男性では30.9歳、女性では29.5歳。

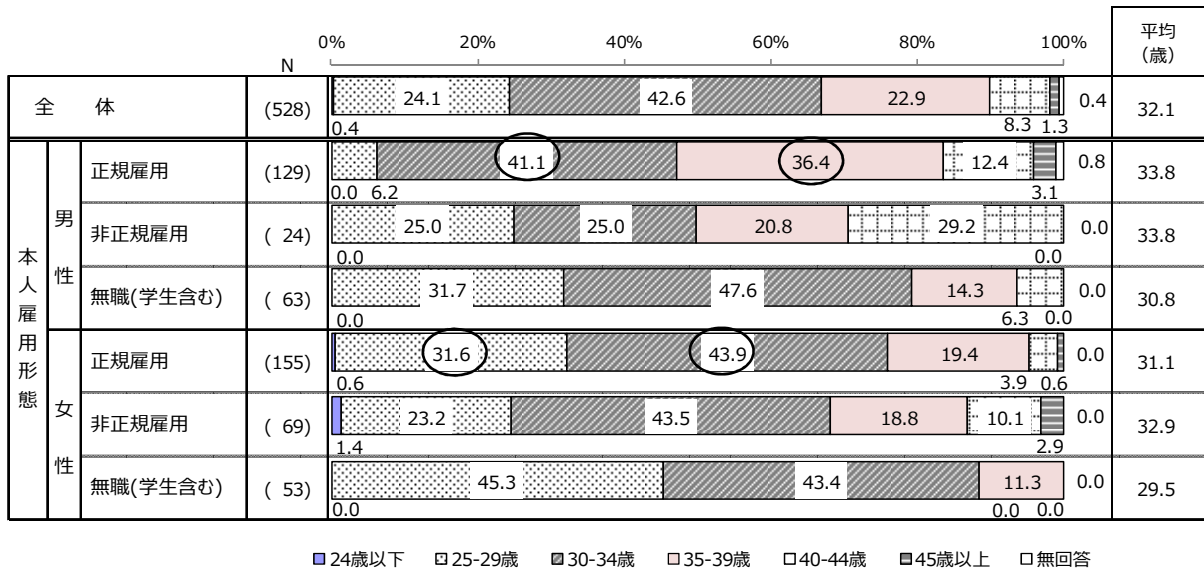
図表 19-1 結婚に向けた積極的な対応をとる年齢 [Q36] (SA) (未婚者、かつ結婚に向けて行動を起こす人)  
【性・年代別】



※ 平均 (歳) を算出するに当たって、「無回答」は算出から除外している。

- ・雇用形態別にみると、男性では、「正規雇用」、「非正規雇用」とも、年齢の平均は33.8歳と同程度だが、女性では「正規雇用」で31.1歳、「非正規雇用」で32.9歳と若干差がみられる。
- ・男性の「正規雇用」は「30-34歳」(41.1%)、「35-39歳」(36.4%)、で計77.5%と約8割。女性の「正規雇用」をみると「25-29歳」(31.6%)、「30-34歳」(43.9%)で計75.5%と女性の方が「25-29歳」の割合が高い。

図表 19-2 結婚に向けた積極的な対応をとる年齢[Q36] (SA) (未婚者、かつ結婚に向けて行動を起こす人)  
【本人雇用形態別】



※ 平均(歳)を算出するに当たって、「無回答」は算出から除外している。

## 20. 結婚に対する考え方 (Q37)

<全ての方に>

Q37 次の考え方に対して、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない
A) 結婚してはじめて一人前だと思う	→ 1	2	3	4	5
B) 生涯独身でもかまわないと思う	→ 1	2	3	4	5
C) 夫は外で働き妻は家庭を守るべきだ	→ 1	2	3	4	5
D) 子供が小さいうちは母親が面倒を見るべきだ	→ 1	2	3	4	5
E) 結婚と恋愛は別だ	→ 1	2	3	4	5
F) 結婚した夫婦は何があっても別れない方がよい	→ 1	2	3	4	5

・全体では、「当てはまる」と「やや当てはまる」の合計において、「結婚と恋愛は別だ」(52.3%)、「子供が小さいうちは母親が面倒を見るべきだ」(46.5%)といった項目が高い。また、「生涯独身でもかまわないと思う」は、33.0%。「結婚した夫婦は何があっても別れない方がよい」は、28.8%。「結婚してはじめて一人前だと思う」(22.9%)、「夫は外で働き妻は家庭を守るべきだ」(18.4%)は、低い割合にとどまる。

・「結婚と恋愛は別だ」は、男性よりも女性で高い傾向があり、特に20代の既婚女性で高い。

・「子供が小さいうちは母親が面倒を見るべきだ」は、未婚男性が34.2%であり、未婚女性(54.3%)の方が20ポイント高い。既婚男性(45.0%)と既婚女性(49.9%)では、未婚に比べてあまり変わらない。

・「生涯独身でもかまわないと思う」は、男女間で大きな差はみられないものの、未既婚別にみると、「既婚全体」では29.4%であるのに対し、「未婚全体」では37.3%と差がみられる。なお、未婚の30代男性は48.5%で約5割、30代女性は42.2%の約4割となっている。

・「結婚した夫婦は何があっても別れない方がよい」は、女性よりも男性で高い傾向がある。

・「結婚してはじめて一人前だと思う」は、30代男性、特に「既婚」で34.1%と高い。男女間でみると、男性全体では30.7%であるのに対し、女性全体では17.1%にとどまる。

・「夫は外で働き妻は家庭を守るべきだ」は、「既婚」、特に30代男性で、24.3%と比較的高い。

図表 20-1 結婚に対する考え方[Q37] (各 SA) (全員)【性・結婚状況(性・年代)別】

(%)

		N	A) 結婚してはじめて一人前だと思う 当てはまる・計	B) 生涯独身でもかまわないと思う 当てはまる・計	C) 夫は外で働き妻は家庭を守るべきだ 当てはまる・計	D) 子供が小さいうちは母親が面倒を見るべきだ 当てはまる・計	E) 結婚と恋愛は別だ 当てはまる・計	F) 結婚した夫婦は何かあっても別れない方がよい 当てはまる・計
全	体	(2,643)	22.9	33.0	18.4	46.5	52.3	28.8
男	性全体	(1,125)	30.7	34.0	21.2	39.4	47.4	36.9
女	性全体	(1,518)	17.1	32.3	16.3	51.7	56.0	22.7
未	婚全体	(1,215)	22.8	37.3	17.4	44.6	50.9	32.8
	男 性	( 585)	28.9	39.8	18.6	34.2	46.8	36.8
	20代	( 354)	28.2	34.2	16.9	33.3	48.6	37.6
	30代	( 231)	29.9	48.5	21.2	35.5	44.2	35.5
	女 性	( 630)	17.1	34.9	16.2	54.3	54.6	29.2
	20代	( 450)	16.7	32.0	16.2	55.6	56.4	30.9
	30代	( 180)	18.3	42.2	16.1	51.1	50.0	25.0
既	婚全体	(1,428)	23.0	29.4	19.3	48.0	53.6	25.3
	男 性	( 540)	32.6	27.6	24.1	45.0	48.0	37.0
	20代	( 83)	24.1	33.7	22.9	47.0	53.0	36.1
	30代	( 457)	34.1	26.5	24.3	44.6	47.0	37.2
	女 性	( 888)	17.1	30.5	16.4	49.9	57.0	18.1
	20代	( 174)	14.9	27.6	18.4	54.0	63.2	27.0
	30代	( 714)	17.6	31.2	16.0	48.9	55.5	16.0
	子有り	(1,118)	23.5	28.6	20.7	48.6	54.0	24.7
	子無し	( 308)	21.1	32.1	14.6	46.4	51.9	27.3

※ 「当てはまる・計」は、「当てはまる」「やや当てはまる」の合計。

- ・「結婚と恋愛は別だ」は、女性の「非正規雇用」(58.6%)、「無職(学生含む)」(58.5%)で、6割弱にのぼる。また、男性の「非正規雇用」では、55.0%と比較的高い。
- ・「子供が小さいうちは母親が面倒を見るべきだ」は、女性の「非正規雇用」で50.9%と比較的高く、女性の「無職(学生含む)」では、60.8%にのぼる。
- ・「生涯独身でもかまわないと思う」は、「交際経験なし」が48.0%、男性の「非正規雇用」で45.0%と高い。
- ・「結婚した夫婦は何があっても別れない方がよい」は、男性の「正規雇用」(38.8%)では、4割弱で最も高い。
- ・「結婚してはじめて一人前だと思う」は、男性の「正規雇用」で32.8%と高い。
- ・「夫は外で働き妻は家庭を守るべきだ」は、男性の「正規雇用」(22.5%)と、女性の「無職(学生含む)」(22.0%)で2割強と高い。

図表 20-2 結婚に対する考え方[Q37] (各 SA) (全員)【交際状況・本人雇用形態別】

(%)

		N	A) 結婚してはじめて一人前だと思う 当てはまる・計	B) 生涯独身でもかまわないと思う 当てはまる・計	C) 夫は外で働き妻は家庭を守るべきだ 当てはまる・計	D) 子供が小さいうちは母親が面倒を見るべきだ 当てはまる・計	E) 結婚と恋愛は別だ 当てはまる・計	F) 結婚した夫婦は何があっても別れない方がよい 当てはまる・計
全 体		(2,643)	22.9	33.0	18.4	46.5	52.3	28.8
交 際 状 況	未 婚							
	恋人あり	(426)	23.2	28.9	18.8	48.8	53.1	34.7
	恋人なし	(761)	22.7	42.0	17.0	42.2	50.1	31.9
	交際経験あり	(465)	23.7	38.3	14.8	40.2	52.7	31.4
	交際経験なし	(296)	21.3	48.0	20.3	45.3	45.9	32.8
本 人 雇 用 形 態	男 性							
	正規雇用	(760)	32.8	32.2	22.5	39.7	47.8	38.8
	非正規雇用	(111)	24.3	45.0	18.0	40.5	55.0	36.0
	無職(学生含む)	(161)	24.2	36.0	16.8	37.3	42.9	31.1
	女 性							
	正規雇用	(566)	18.6	31.4	11.7	46.5	53.5	22.4
非正規雇用	(430)	15.8	30.2	17.0	50.9	58.6	20.7	
	無職(学生含む)	(436)	15.8	34.4	22.0	60.8	58.5	25.7

※ 「当てはまる・計」は、「当てはまる」「やや当てはまる」の合計。